

久留米市セーフコミュニティ 全体概要

みんなで取り組む
安全安心のまちづくり



セーフコミュニティ
国際認証都市
久留米市

福岡県久留米市 協働推進部安全安心推進課

セーフコミュニティ主幹 豊福 良輔



1 久留米市の概要



1-1.地勢



- 面積: 229.96km²
- 人口: 302,091人
- 人口密度: 1,313.7人/km²
(2023年6月1日現在)



筑後川



耳納山地

九州自動車道

九州新幹線



1-2.全ての季節が美しいまち くるめ



400品種2600種で彩るバラ



色鮮やかな久留米つつじ



秋空に映えるコスモス



寒空に凛と咲く久留米つばき



1-3.食通！グルメのまち くるめ



久留米ラーメンが豚骨ラーメンの元祖



久留米焼きとり



「日本3大酒どころ」久留米の銘酒



1-4 .文化と歴史が交差するまち くるめ



全国にある水天宮の総本宮・水天宮



筑後川花火大会



日本三大火祭りのひとつ・鬼夜



久留米市美術館



1-5 .ものづくりの精神を受け継ぐまち くるめ



1-6.安心、元気な医療のまち くるめ



久留米市ドクターカー



久留米大学病院高度救命センター ドクターヘリ

医師数・医療サービスは日本トップクラス



久留米市の医療体制

●人口10万人あたりの医師数

全国2位

●人口10万人あたりの産婦人科
医・小児科医数

政令・中核市で1位

●救命救急センター数

2ヶ所（久留米大学病院／聖マリア病院）

●救急搬送時間（2021年）

27.6分・・・政令・中核市で2位

※全国平均40.6分 <久留米広域消防本部調べ>

<厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」> 2020年12月31日現在





2 セーフコミュニティの歩み





社会環境の変化

- ◆ 阪神・淡路大震災を契機として、ボランティア、地域コミュニティの大切さが確認される。
- ◆ 孤独死など、新たな社会問題の発生。
- ◆ 行政だけではまちづくりができないことに気づく。



- 市民の参加・参画をさらに促進するため・・
- 地域の課題や市民 ニーズに的確に対応し、地域の実情にあったまちづくりを進めるため・・

これからは「協働のまちづくり」が重要



久留米市の地域課題

- ◆事故、犯罪・暴力事件への不安
- ◆大規模災害への不安
- ◆地域のつながりの希薄化
- ◆地域コミュニティと市民活動団体の連携

安全・安心な市民生活の確保

- 安全で安心な暮らしは市民共通の願い
- 実現に向けて、協働のまちづくりを進める必要があるものの、「協働ってどんなこと？」

セーフコミュニティ (安全安心分野の協働を認証する仕組み)

2-3.これまでの主な経過



時 期	内 容
2011年7月	セーフコミュニティ取組宣言
2011年11月	セーフコミュニティ推進協議会設置
2012年3月～8月	8つの対策委員会、外傷等動向調査委員会を順次設置
2012年10月	認証事前指導
2013年8月	認証現地審査
2013年12月	セーフコミュニティ認証取得、式典開催
◇ ◇ ◇ 取組の推進 ◇ ◇ ◇	
2017年2月～4月	各対策委員会の取組効果と課題の確認、具体的施策の変更
2017年10月	再認証事前指導
2018年7月	再認証現地審査
2018年12月	セーフコミュニティ再認証取得、式典開催
◇ ◇ ◇ 取組の推進 ◇ ◇ ◇	
2022年12月	再認証（3回目）事前指導





3 6つの指標に基づく取組



3-1.指標1 Governance ~ ガバナンス



2011年11月設置
会長：久留米市長
委員：55団体56名

外傷等動向調査委員会

セーフコミュニティ推進協議会

重点取り組み分野の対策委員会

交通安全	児童虐待防止	学校安全	高齢者の安全	防犯	DV防止	自殺予防	防災
------	--------	------	--------	----	------	------	----

支援

日本セーフコミュニティ推進機構



(2)安全診断

地域診断の結果	重点取組分野
<p>◆ 市内の交通事故発生件数（人口10万人あたり）は、福岡県、全国と比較して高い。</p>	交通安全
<p>警察統計、認証申請書20頁、図表34参照</p>	
<p>◆ 市内における自転車事故発生件数（人口10万人あたり）は、福岡県と比較して高い。</p>	交通安全
<p>警察統計、認証申請書22頁、図表37参照</p>	
<p>◆ 虐待を含む児童相談件数は増加している。</p>	子どもの安全
<p>家庭子ども相談課統計、認証申請書28頁、図表53参照</p>	
<p>◆ 「子ども（小学生以下）を虐待しているのではないかと思うことがある」と回答した保護者が2割以上いる。</p>	
<p>2008年 久留米市次世代育成支援に関するニーズ調査</p>	
<p>◆ 子どもが自宅以外でけがをした状況では、学校（屋外及び屋内）でのけがが11.8%と比較的多い。</p>	子どもの安全
<p>2011年 久留米市民のけがや事故などについての実態調査</p>	

3-3.指標2 Surveillance～サーベイランス



地域診断の結果	重点取組分野
<p>◆ 高齢者の半数以上は、転倒に不安を感じており、高齢者のケガの原因は、転倒によるもの(57.8%)が最も多い。</p>	<p>高齢者の安全</p>
<p>2011年 久留米市民のけがや事故などについての実態調査 認証申請書26頁図表48、64ページ図表106参照</p>	
<p>◆ 高齢者虐待相談・通報件数は、増減はあるものの増加の兆しを見せている。</p>	
<p>長寿支援課統計 認証申請書29頁図表57参照</p>	
<p>◆ 被虐待者は認知症高齢者が多く、虐待事例の多くが同居の親族によるものである。</p>	
<p>長寿支援課統計 認証申請書64頁図表108、109参照</p>	



3-4.指標2 Surveillance～サーベイランス



地域診断の結果	重点取組分野
<p>◆ 人口10万人当たり刑法犯認知件数は、全国、福岡県と比較して高い。</p>	<p>犯罪・暴力の 予防</p>
<p>警察統計 認証申請書23頁、図表39参照</p>	
<p>◆ 女性からの相談の中でドメスティック・バイオレンス（DV）に関する相談の割合が高い。</p>	
<p>男女平等推進センター統計</p>	
<p>◆ パートナーから何らかの暴力を受けたことがある女性は、国が約3割に対し、久留米市は約半数である。</p>	
<p>2009年 年久留米市 男女平等に関する意識調査 認証申請書30頁図表60参照</p>	



3-5.指標2 Surveillance～サーベイランス

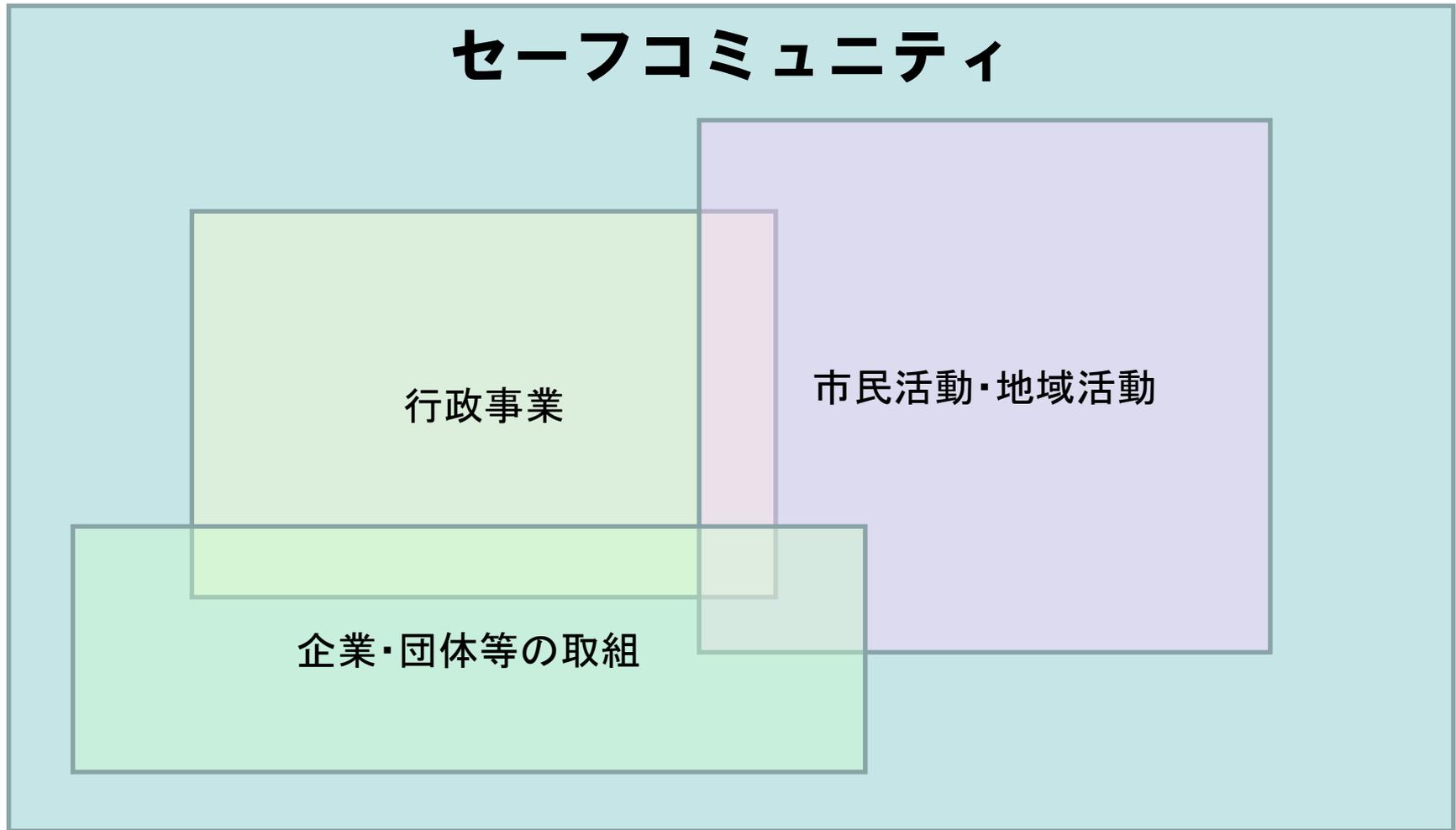


地域診断の結果	重点取組分野
<p>◆ 病気を除いた死亡原因では、自殺が最も多い。</p> <p>人口動態統計 認証申請書17頁図表24参照</p>	自殺予防
<p>◆ 人口10万人当たりの自殺者数を示す自殺率は、国、県と比較して高い。</p> <p>人口動態統計、認証申請書17頁図表24参照</p>	
<p>◆ 自然災害（地震・台風）に対して、約8割の市民が不安を感じている。</p>	防災
<p>2011年 久留米市民意識調査 認証申請書94頁図表137参照</p>	
<p>◆ 市民の半数近くが災害への対策を行っていない。</p> <p>2011年 久留米市民意識調査 認証申請書95頁図表139参照</p>	





(1)安全安心の向上に向けた取組の全体像



3-7.指標3 Comprehensiveness～包括性・持続性



(3)全ての年齢・性別・環境・状況をカバーする取組み

分野	子ども [0～14歳]	青年 [15～24歳]	成人 [25～64歳]	高齢者 [65歳以上]
A 交通安全	交通安全教室 学校周辺の道路整備 子ども見守り活動 生活道路の整備 自転車利用促進計画	交通安全教室 バイク通学者への講習 生活道路の整備 自動車利用促進計画	生活道路の整備 自転車利用促進計画 飲酒運転撲滅啓発	シルバーセーフティ スクール 生活道路の整備 自転車利用促進計画 運転免許自主返納支援
B 子どもの安全	交通安全教室 学校で安全に過ごすための 児童会活動 いじめの未然防止・早期 発見 子ども見守り活動 SOSの出し方教育 青パト防犯パトロール	交通安全教室 バイク通学者への講習 いじめの未然防止・早期発見 SOSの出し方教育 青パト防犯パトロール	子育て・子ども相談 児童虐待防止啓発 教職員研修 青パト防犯パトロール	児童虐待防止啓発 青パト防犯パトロール
C 高齢者の安全	認知症・虐待に関する 学習会	転倒予防のための 健康づくり、介護予防 認知症・虐待に関する 学習会 介護事業所向け研修	転倒予防のための 健康づくり、介護予防 認知症・虐待に関する 学習会 介護事業所向け研修	転倒予防啓発 健康づくり・介護予防 認知症・虐待に関する学習会 運転免許自主返納支援
D 犯罪・暴力予防	防犯カメラ設置 青パト防犯パトロール 子ども見守り活動 防犯ブザー配布 自転車ツーロック推進 児童虐待、DV防止教育	防犯カメラ設置 青パト防犯パトロール 自転車ツーロック推進 児童虐待、DV防止教育 女性相談	防犯カメラ設置 青パト防犯パトロール 自転車ツーロック推進 児童虐待、DV防止啓発 女性相談	防犯カメラ設置 青パト防犯パトロール 自転車ツーロック推進 児童虐待、DV防止啓発 女性相談
E 自殺予防	かかりつけ医うつ病 アプローチ研修会 SOSの出し方教育 こころの相談 ゲートキーパー研修	かかりつけ医うつ病 アプローチ研修会 SOSの出し方教育 こころの相談 ゲートキーパー研修 生活困窮者の自立相談	かかりつけ医うつ病 アプローチ研修会 こころの相談 ゲートキーパー研修 生活困窮者の自立相談	かかりつけ医うつ病 アプローチ研修会 こころの相談 ゲートキーパー研修 生活困窮者の自立相談
F 防災と災害対応	総合防災訓練 流域治水の推進	総合防災訓練 流域治水の推進 防災リーダー研修 木造住宅耐震改修補助	総合防災訓練 流域治水の推進 防災リーダー研修 木造住宅耐震改修補助	総合防災訓練 流域治水の推進 木造住宅耐震改修補助 避難行動要支援者の支援

3-8.指標4 Vulnerable Groups～脆弱集団

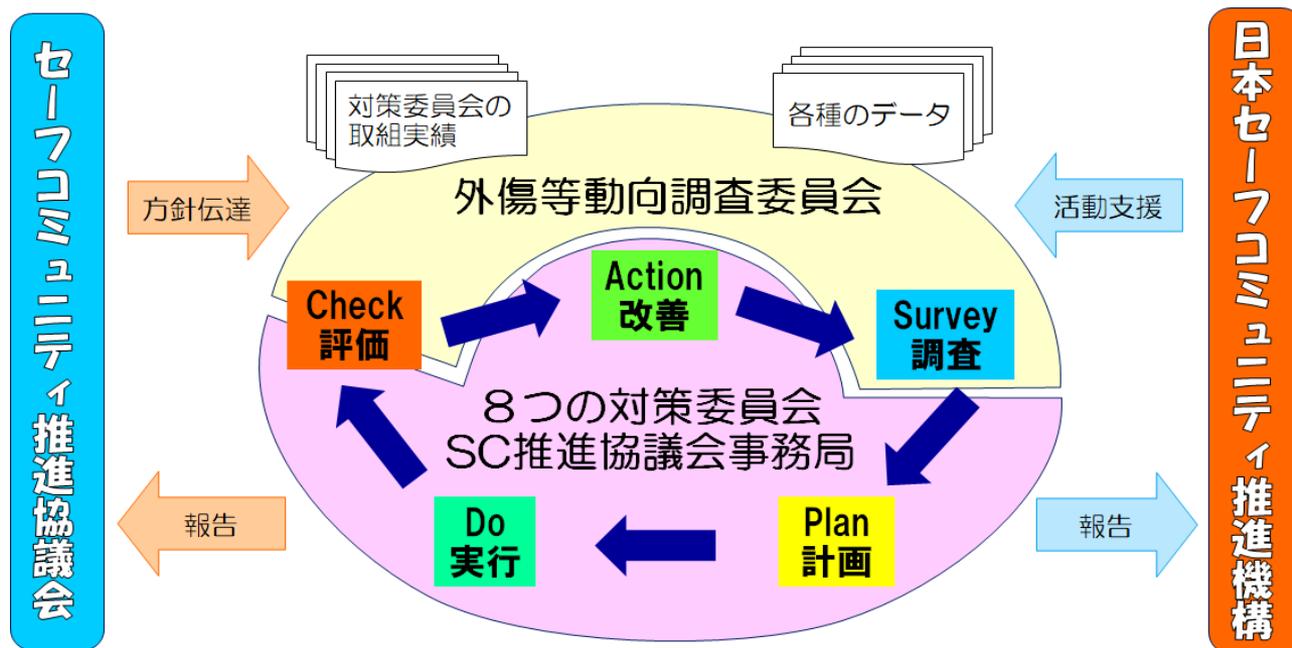


ハイリスク グループ	① 子ども（虐待の対象となりやすい）
	② 女性（DV被害の対象となりやすい）
	③ 高齢者（虐待や転倒でケガしやすい）
	④ 自殺のおそれがある者
	⑤ 要援助者（自然災害でリスクが高い）
ハイリスク 環 境	① 浸水想定地域がある
	② 土砂災害危険地域がある

3-9.指標5 Evaluation～評価



各対策委員会の取組実績や、外傷等動向調査委員会が収集したデータを基に、推進体制全体で、取組を振り返っています。



- 各対策委員会は、重点課題に対する取組を振り返る。（各対策委員会プレゼンで報告）
- 外傷等動向調査委員会は、各対策委員会や推進協議会事務局の振り返りを支援する。（外傷等動向調査委員会プレゼンで報告）
- SC推進協議会は、全体を振り返る。
- JISCは、外部組織として支援を行う。





4 セーフコミュニティの啓発活動

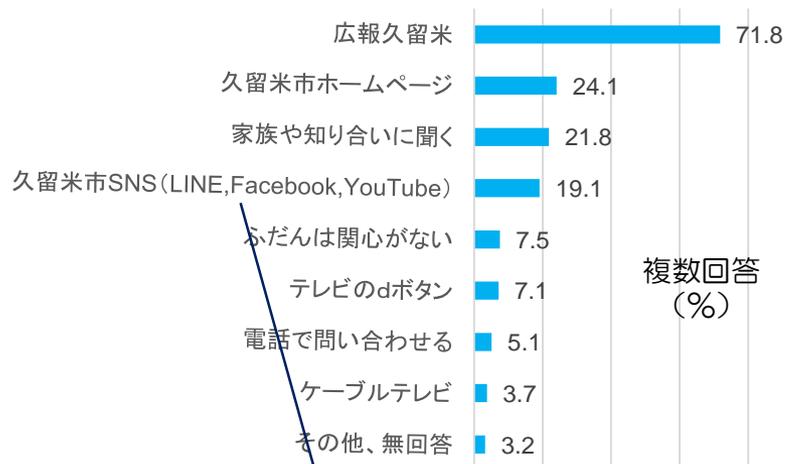
- セーフコミュニティは重点分野だけではない。
- セーフコミュニティの考え方が、広く市民に浸透することが大切
- 啓発に力を入れる必要がある。





久留米市公式YouTubeの動画配信

久留米市に関する情報の入手先 2021年セーフコミュニティ実態調査



市民の情報の入手先として
上位の、SNSを活用した
発信を強化

ころぶ・おちる・ぶつかる(年齢層別)

年齢層	回数
0-9歳	100
10-19歳	50
20-29歳	50
30-39歳	50
40-49歳	50
50-59歳	100
60-69歳	200
70-79歳	400
80-89歳	650
90-99歳	300
100歳～	50

#安全安心 #久留米市
セーフコミュニティ①一番多いけがや事故
220 回視聴・2022/06/20

2022年4月の配信では、救急搬送の原因の
上位を示し、転倒の予防を呼びかけた。



5 これまでの取り組みの成果



5-1.これまでの取り組みの成果



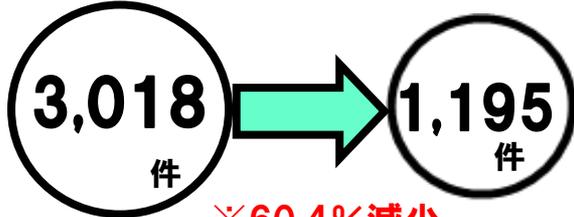
重点取組分野に関連するデータの推移①

交通安全

【交通事故件数】

2011年(H23年)

2022年(R4年)



※60.4%減少

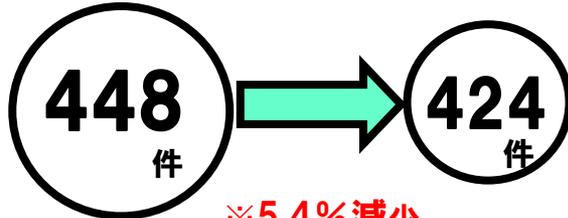
出典:警察統計

子どもの安全

【18歳以下の外因による救急搬送件数】

2011年度(H23年度)

2022年度(R4年度)



※5.4%減少

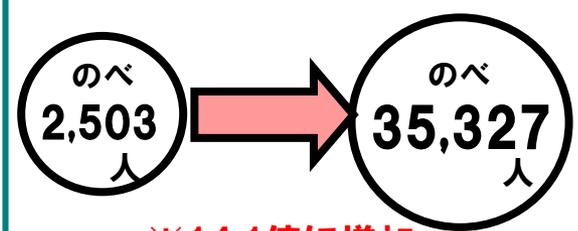
出典:救急搬送データ

高齢者の安全

【認知症サポーター養成講座受講者数】

2011年度(H23年度)

2021年度(R3年度)



※14.1倍に増加

出典:長寿支援課統計





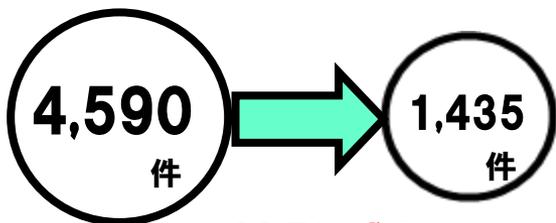
重点取組分野に関連するデータの推移②

犯罪・暴力の予防

【一般刑法犯の認知件数】

2011年(平成23年)

2022年(R4年)



※68.7%減少

出典:警察統計

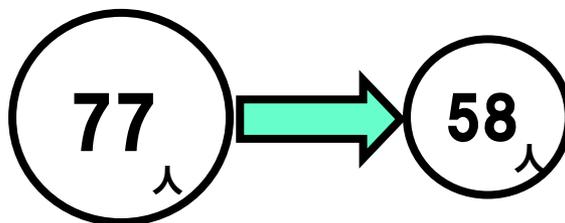


自殺予防

【自殺者数】

2011年度(H23年度)

2021年度(R3年度)



出典:人口動態統計

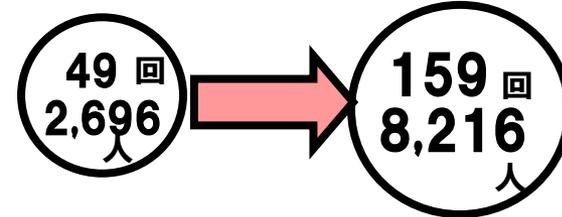


防災

【自主防災訓練の回数・参加者数】

2011年度(H23年度)

2019年度(R1年度)



※3.0倍に増加(参加者数)

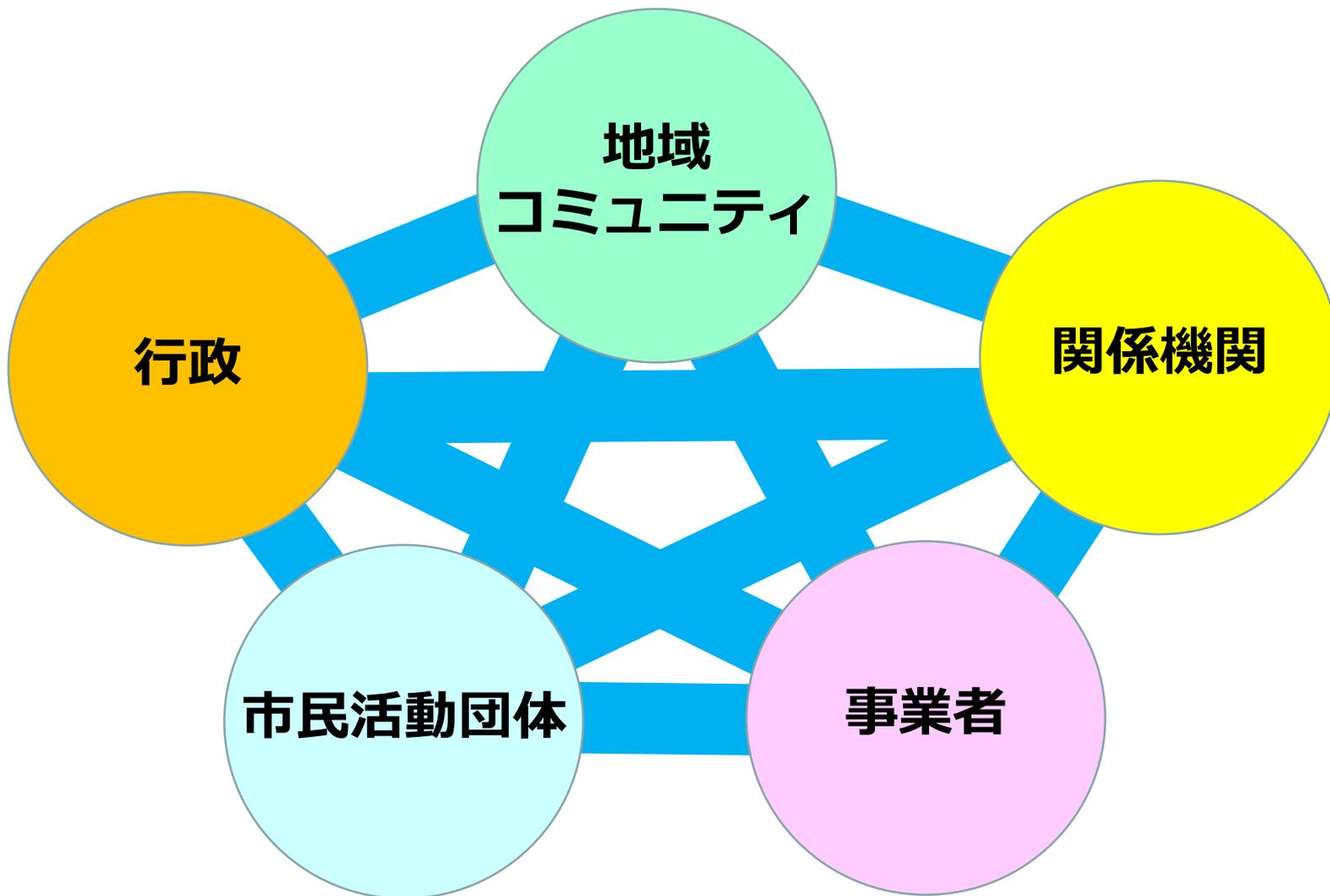
2020年度以降は、コロナ禍により、実施回数が減少

出典:防災対策課統計





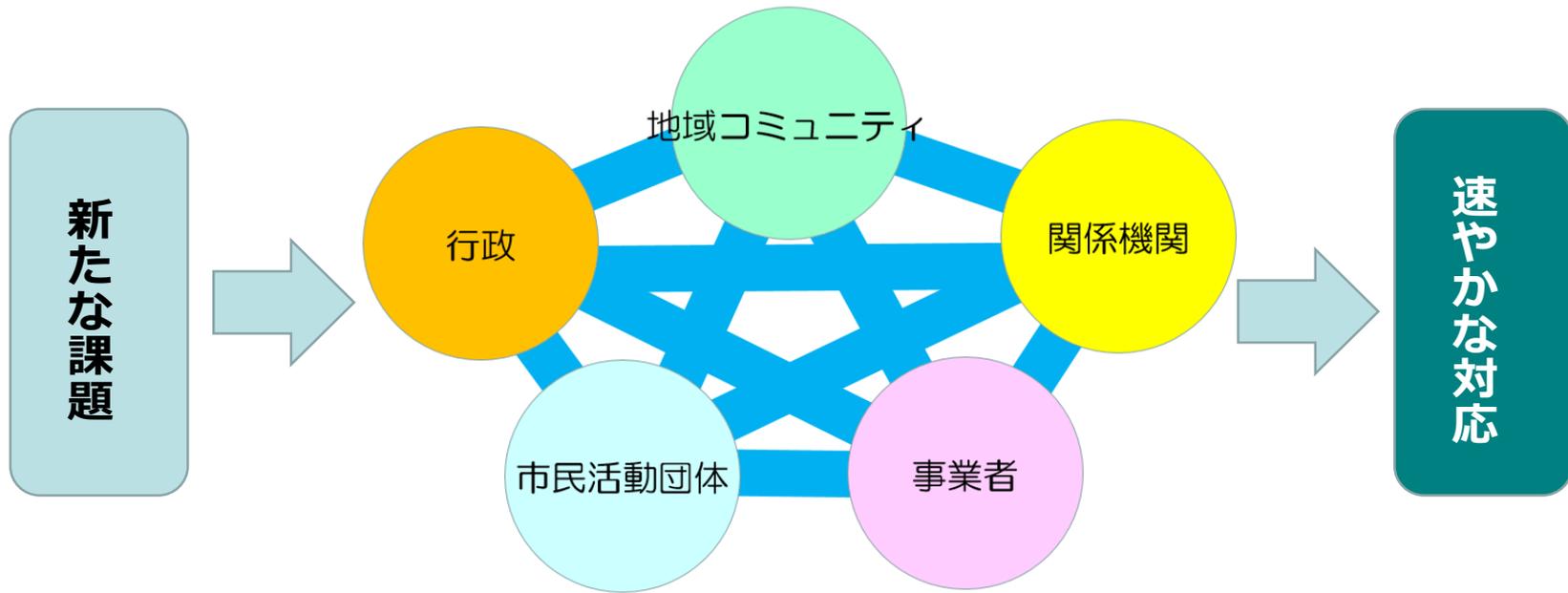
「協働」の見える化



5-4.これまでの取り組みの成果



「協働」を基盤とした新たな課題への対応



例えば・・・

新たな犯罪である「二重電話詐欺」に対して、警察、市、地域が連携し、青パトを活用した注意喚起を行う体制を速やかに構築

セーフコミュニティの重点取組以外でも・・・

医療機関と連携した新型コロナウイルス感染症予防接種の速やかな実施

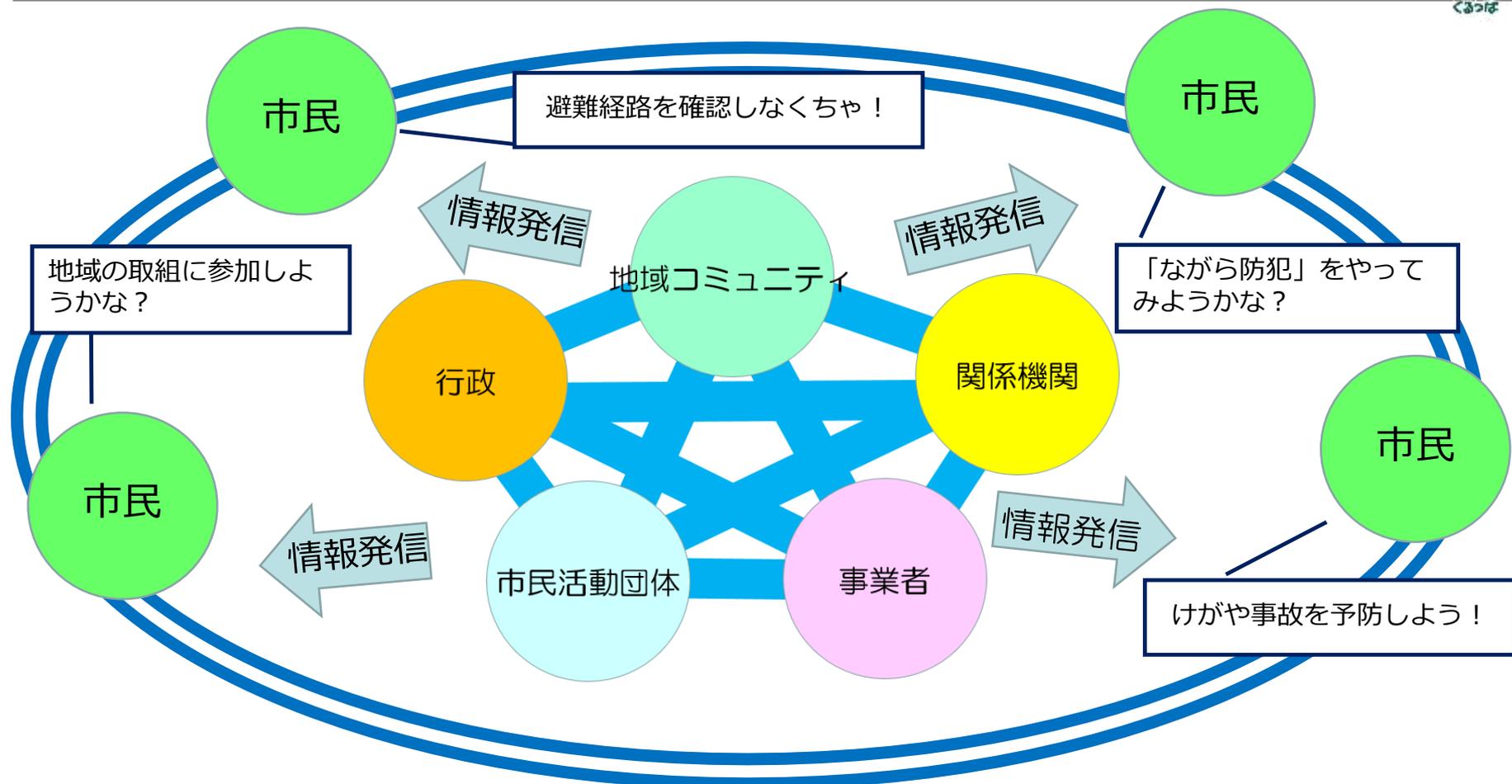




6 これからの課題



6-1.これからの課題



もっと安全で安心な久留米をめざして、

広げよう、「協働」の輪！



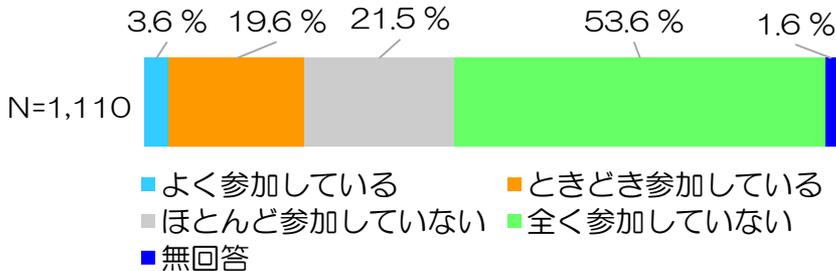


市民参画の拡大

もっと安全で安心な久留米を目指し、協働の輪を広げるため、市民参加を拡大するための工夫が必要。

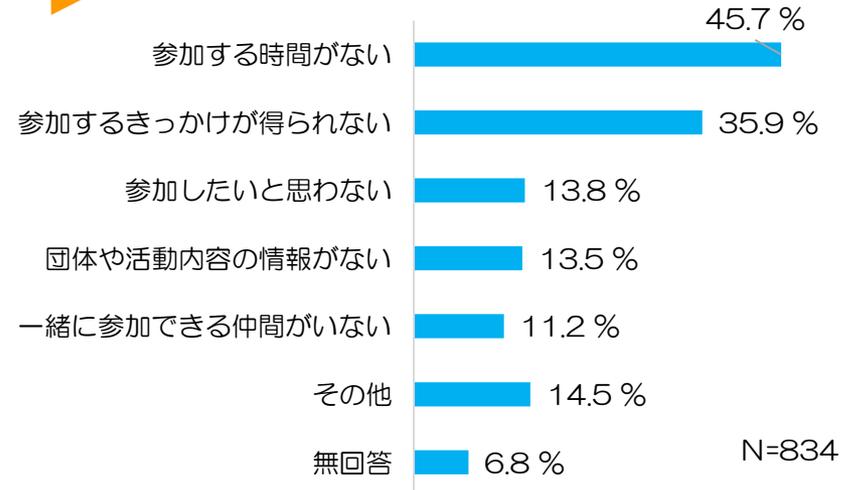
- ◆ 「短時間でできる活動」や、「ながら活動」の周知
- ◆ 地域の安全安心活動の体験プログラムの実施 など

Q：あなたは地域の防犯活動に参加していますか？



「全く参加していない」 = 53.6%
「ほとんど参加していない」 = 21.5%

Q：参加していない理由は何ですか？



2021年セーフコミュニティ実態調査





セーフコミュニティの見える化の充実

これまでの成果である、「協働の見える化」と、「安全安心に関するデータの見える化」をもっと活かす工夫が必要。

- ◆ 市民参加型のSNSの活用
- ◆ 久留米市が持つ媒体に限らず、地域や関係機関の情報媒体やイベントの活用
- ◆ 地域コミュニティや事業者団体などへの呼びかけ など



6-4.これからの課題



2023年3月、合同対策委員会を開催し、「セーフコミュニティをどう広げていくか」をテーマとしてワークショップを行いました。





国際認証都市



くるめ



国際認証都市
くるめ

安全・安心の合言葉

セーフコミュニティ

みんなで「けがや事故」を予防して

安全・安心なまち 久留米を目指しましょう

久留米市

ご清聴ありがとうございました。

